

会議録（1）

会議の名称	入間市公共施設マネジメント事業計画 第2回 学校統合地区検討会議（西武地区）
開催日時	令和元年9月19日（木） 午後7時00分 開会・午後9時15分 閉会
開催場所	西武公民館2階大会議室
議長氏名	吉田賢紀会長
出席委員(者)氏名	入間市公共施設マネジメント事業計画 学校統合地区検討会議（西武地区）委員 岩崎秋親、佐藤秀忠、島根雄樹、清水正二、鈴木憲之、關山啓二、 染谷英俊、高橋和久、築地芳枝、中島克巳、長澤ゆかり、幡野敏 彦、樋口秀男、平岡芳太郎、不破誠、峰崎玲子、宮西瞳
欠席委員(者)氏名	田中崇司、平岡武、横山勝典
説明者の職氏名	総務部公共施設マネジメント推進課主幹 大石浩士
会議次第 (公開・非公開の別)	1 開会 2 会長挨拶 3 議事 (1)各種データの確認 ①人口の動向 ・事務局説明 ・質疑応答 ②中学校の概要 ・事務局説明 ・質疑応答 ③通学路の現状 ・事務局説明 ・質疑応答 ④スケジュール ・事務局説明 ・質疑応答 (2)「公共施設マネジメント事業計画学校統合地区検討会議における検討事項について」

	(3) 次回検討事項説明
	4 閉 会
	公 開
非 公 開 理 由	なし
傍 聴 者 数	13名
配 布 資 料	<ul style="list-style-type: none"> ・資料1 入間市公共施設マネジメント事業計画学校統合地区検討会議（西武地区）第2回 説明資料 ・資料2 通学路に関する課題 ・資料3 資料2（補足）地図1 ・資料4 資料2（補足）地図2
関係部局職員氏名	教育部部長 新見輝明 教育部次長 関谷佳代子 教育部参事兼学校教育課長 北野晃 教育部副参事（教職員指導担当） 伊藤浩二 教育部教育総務課課長 鹿山泰隆
事務局職員氏名	総務部部長 田雜弘章 総務部次長 徳山寿行 総務部参事兼公共施設マネジメント推進課課長 浅見泰志 総務部副参事（公共施設マネジメント担当） 平沼宏之 総務部公共施設マネジメント推進課主幹 増田暁伸 総務部公共施設マネジメント推進課主幹 大石浩士
会議録作成方法	要点筆記

会議録(2)

議事の概要(経過)・決定事項

1 開会(午後7:00)

2 会長挨拶

3 議事

(1)各種データの確認

①人口の動向

- ・事務局説明
- ・質疑応答

②中学校の概要

- ・事務局説明
- ・質疑応答

③通学路の現状

- ・事務局説明
- ・質疑応答

④スケジュール

- ・事務局説明
- ・質疑応答

(2)「公共施設マネジメント事業計画学校統合地区検討会議における検討事項について」

(3)次回検討事項説明

4閉会(午後9:15)

会議録（3）

発言者	発言内容
	(委員及び事務局の発言が行われた部分のみ記述する。) (1)各種データの確認について ①人口の動向 (発言者なし)
委員	②中学校の概要 実際の学校の様子がわからない。委員が学校内を見学する機会を持つことはできないのか。
関係部局	日程や時間帯を考慮し、学校と調整すれば学校内を見学することは可能である。
委員	日程が合えば是非、学校内を見学させてほしい。
委員	学校トイレの整備状況を見ると洋式率が非常に低く感じる。洋式率を上げるには今後どういう取組を行うのか。あるいは学校を統合した場合、洋式率は100%に近くなるのか。
関係部局	現在、市内の公立小中学校は27校あり、トイレの洋式化については順次していく予定ではあるが、予算の都合もありすぐに進められるわけではない。どの学校も建築から年数が経っており、トイレだけの問題ではなく、配管も取り換えるなければならない学校もある。配管の取り換えは高額なものになる。そのため、できるところから取り掛かりたい。学校を統合し建替えた場合は洋式化し、バリアフリーに対応したトイレになるだろう。
委員	比較的新しい武蔵中学校の洋式率はどのくらいか。
関係部局	武蔵中学校の洋式率は100%である。
委員	もし建替えるとしたら、洋式率は100%になると期待しても良いか。
関係部局	家庭でも洋式が多く、基本的にはほぼ100%になるであろう。

発言者	発言内容
事務局	<p>建替え時期が近い、老朽化の激しい施設に対し、トイレ洋式化事業として思い切って何千万円の投資をすることは難しい。今回のように統合するというのであればバリアフリーや洋式化することはできる。各施設の建替えや改修といった計画なしに2年後に全学校のトイレを洋式化するということはできない。長期的な計画を策定しなければ、今後限られた財源を効率的に執行することは難しい。配管も相当傷んでいるという実態がある。公共施設マネジメントの目的の一つとして、計画を策定し、将来につなげるために、計画的に実施したい。</p>
委員	<p>スライド12に部活動についての記載がある。部活動というのは子どもにとって大事な楽しみの一つではないかと思う。そこに、駅伝部があるが、駅伝部に所属している生徒は、野球部と駅伝部を兼部しているのか。一覧で見ると意外と選択肢があるよう見えるが、実際には選択肢が少ないという現状があるのか。また、スライド15にプールの建築年が記載されているが、1989年の誤りではないか。最後に先ほどから意見が出ているが、トイレについて、予算が限られているため、実施できることとできないことがあるが、洋式化だけではなく、自動式など進んでいる自治体もある。その辺はどう考えるか。自分が委員に委嘱されてから、あれこれ考えた。予算と子ども達の未来の両方を盛り上げるなら全国的なモデルケースになるように取り組んでいくべきではないかと思う。周りの保護者に聞くと、統合は賛成であるという。それは誰しも自宅近くの中学校が残ると思っている。より多くの人が納得できる計画を立てるべきだと思う。全自动にして盛り上げていき、人口が増えることが一番望ましいのではないか。</p>
関係部局	<p>野田中学校の部活動では、駅伝部は野球部に所属しながら駅伝部に所属している子も多くいる。西武中学校については確認して後日回答する。</p>
委員	<p>スライド12に記載されている西武中学校の運動部7というのは駅伝部と野球部は兼部可能である。駅伝部はクラブ活動、サークル的な位置づけである。他にも煎茶道もクラブ活動に位置付けられているので部活動との兼部が可能である。厳密にいうと駅伝部には全国大会など大きな大会につながるものはないという認識である。</p>

発言者	発言内容
関係部局	駅伝部も市内大会、県大会を通じて全国につながる大会がある。野田中学校は男子の部で、関東大会、全国大会に出場した経験がある。
事務局	野田中学校のプールは校舎と一緒に建築されたため 1989 年の誤りである。設置から 30 年経過している。
事務局	この学校の統合というのは公共施設マネジメントに沿って検討している。現在ある施設を全て維持することは難しい。そのため集約して、残す施設の機能を充実することを目指している。財源の制約もありどこまで具体化できるかは今後の検討課題である。これまで以上に良い環境にすることが基本的なスタンスである。今後施設が充実するように考えたい。今後もそのような視点からの意見を伺いたい。
委員	西武中学校から野田中学校へ野球部で越境している子がいると聞く。今、資料を見ると西武中学校にも野球部があると記載されている。各部活動の越境状況が知りたい。
関係部局	西武中学校の野球部は生徒数の減少により令和元年度 6 月の春の学校総合体育大会をもって休部となった。新 1 年生は野田中学校に指定校外就学となり通学している。
委員	部活動のみ越境することが許されているのか。
関係部局	その通りである。
委員	前回の会議録 11 ページに越境の話が記載されているが、その具体的なデータが欲しい。また、各学校の内容やクラス数、人数は数字で把握できる。西武中学校の生徒数は少ないが、実際の学校生活、行事などの中学校生活にどのような影響があるのか。今年、西武中学校の 2 年生は 39 人で 1 クラスしかなく、運動会では 1 クラスを 2 組に分けて、同じクラス内で競い合っていると聞いた。スライド 11 には、令和元年度、西武中学校の 2 年生は 39 名あるが、2025 年には西武中学校の 1 年生は 35 名ある。将来的にはどのようなことが起こるのか教えてほしい。

発言者	発言内容
関係部局	野球部で他校に通う生徒は2名、サッカーチーム1名、吹奏楽部1名、相撲部1名というデータある。
関係部局	西武中学校の2年生は運動会で2組に分かれ、一生懸命競技に取り組んでいた。先生方も工夫を凝らして競技を考えてくれている。大規模校でも小規模校でも同じように取組んでいる。
委員	行事は運動会以外にもいろいろある。生徒数の少ない西武中学校の行事について、参考になることがあれば次回紹介してほしい。
委員	トイレの整備状況の記載はあるが、エアコンは設置されているのか。
関係部局	昨年6月、全公立小中学校の普通教室にエアコンを設置済みである。
委員	部活動が、西武中学校から無くなっていく。今年野球部も休部になったということであるが、生徒数が減っていく過程でどのくらいの生徒数を下回ったら休部になるという基準を野田中学校に示した方が良いのではないか。そうすればその基準まで生徒数が減ったために部活動が減ったと推測できるのではないか。補足として2人の生徒が東金子中学校の剣道部へ越境している。現在の西武中学校の2年生は7人越境している。
関係部局	部活動を休部にする基準は、学校ごとに異なる。埼玉県で共通の基準があるわけではない。教員の数は埼玉県の基準で40人を超えると2学級になり、教員数が決まるが、部活動の増減は学校ごとに決める。西武中学校の野球部が休部となった詳細はわかりかねるが、経験上部員数が少なくなり、1チームも試合に出られない状況が複数年続いた場合、休部を検討する。しかし、休部前には生徒、保護者に十分に説明をすることが大前提である。野球部については、小学校とも相談した上で休部であると西武中学校の校長から聞いている。
事務局	人数的な傾向として、入間市内の公立中学校に在籍する生徒数と、部活動数は示すことができる。しかし、そのデータから休部の基準として傾向がつかめるかはわからない。一度調べてみる。スライド10には、2019年に

発言者	発言内容
	野田中学校の生徒数が 366 人であるが、2029 年に 283 人に減るという推計があり、人数が減った時の部活動数を大まかに知るために、他校の部活動数と生徒数を見て、読み取れることを読み取って示したい。
委員	<p>③通学路の現状</p> <p>中橋を渡って、ずっとまっすぐ進みファミリーマートに抜ける道をスクールゾーンにできないのか。その道がスクールゾーンになれば野田から仏子に登校する 100 名以上を危険から守れるのではないかと思う。大型車は道幅が狭いためもともと通行することはできないが、その他の車も迂回することが可能な道があるので、安全のためにスクールゾーンにできないか。</p>
事務局	スクールゾーンの要望は警察との協議になる。スクールゾーンにすることを一つの課題として挙げることになる。警察にはスクールゾーンになる条件を確認する。
委員	今回は、通学路に関する話がメインであったが、どちらかに統合するのであれば冬場真っ暗な中、下校することになるだろう。今でも不審者情報が市に提供があったり、委員が知らない情報があったりすると思う。それを資料として提供してほしい。
事務局	各学校で交通上の危険個所、防犯上の不審者情報を示す安全マップを作成している。次回提示する。
委員	西武中学校の生徒は通学路としてどこを通る生徒が多いのか。野田中学校の生徒に通学路を聞くことは難しいだろうが、現在の在校生が西武中学校に通うにはどの道を通る可能性が高いのかを調べて、安全性を確認する。それから防犯上スクールゾーンを検討することになるだろう。小学校は指定の通学路があり、中学校には指定された通学路はないというが好きな道を通って良いわけではないと思う。どこを通るのかを把握するには、教育委員会から野田中学校にお願いすることができるのか。実態を把握していないと実際に生徒数が減少して、交通量がどの程度あるのか、朝練の有無により登校時間が違うなどで交通状況が変わってくることを予想できない。スクールゾーンを指定する、スクールバスや公共交通機関を利用して

発言者	発言内容
	<p>の通学が可能かの話も出てくるだろう。どの生徒がどこを通学路としているのかを把握すべきだ。写真を見ても野田の方から登校する子は、野田のラーメン屋より北側の中橋通りは国道299号までならば、歩道を自転車で通ることが出来るが、その先は歩道の自転車通行は不可である。しかし、みんな歩道を自転車で通っている。小学校と70歳以上の高齢者は歩道を自転車で通って良いようであるが、中学生は車道を走らねばならない。その辺も良く確認して、西武中学校への通学路をよく確認すべきである。昔とは道路状況が違う。</p>
事務局	<p>西武中学校から、県道の歩道があるところを通っていると思う。はっきりしたことは言えないが、野田中学校の生徒が西武中学校に通うとすれば、通学手段はどうするか。それは学校に協力してもらう必要がある。すぐにできるものではないが検討する。</p>
委員	<p>野田中学校の生徒は音楽会を武藏野音楽大学のバッハザールまで行っており、会場までは歩いて移動している。その時に通る道が参考になるのではないか。</p>
委員	<p>3区や8区に住んでいる子ども達が西武中学校に登校する時には、中橋の北から国道299号につながる道を通るがその歩道が狭い。説明会でも問題になっていた。今でも狭いが、統合した場合、歩道を歩く人が増え、歩道を通れなくなると車道を歩くことになる。道路の拡張が必要である。この計画では、この検討会議が終わって5年後には統合するとある。それまでに道路を拡張することは間に合うのか。</p>
事務局	<p>民家がある道路を拡張するとなると用地買収が必要になる。用地買収ができる場所から道路を拡張するため、広い所と狭い所が混在する道路になる。道路拡張に関しても、計画を策定してから進めるため5年10年ではできない。ただ、今、自転車通学としての通学路指定がないか確認した。武藏中学校は既に自転車通学を許可しているので、事例を踏まえながら、許可した場合の通学路はどのようなルートになるのかを検討する。自転車通学の通学路の指定については、今後資料として提供する。</p>

発言者	発言内容
委員	不審者情報は防災無線で流したり、通学路に電光掲示板を設置したりして流すことはできないのか。子供が学校に通っていないと、不審者情報は回覧板で確認するしかない。
関係部局	不審者情報があった場合、各小中学校にはファクスで情報を流している。また、学校の一斉メールに登録している人には、学校から保護者や地域の方に不審者情報のメールを発信し、注意を促している。
委員	一斉メールの宛先は、学年ごとの他にその他がある。しかし、登録できる時期が春先だけで地域の方にはなかなか情報がいかず、その制度を知らない人も多い。去年、校長に各区長に一斉メールの周知をお願いしたが、どの程度周知されているのか不明である。
事務局	2015年に熊谷連続殺人事件という事件があった。その事件は、凶悪犯罪者が逃走したという情報を住民に流さなかったことで、住民が被害に遭ったというものである。凶悪犯罪の場合は、警察から市に対して情報が来て、防災無線で流す仕組みになっている。しかし防犯情報にはレベルがあり、緊急性がどの程度あるかによって対応が変わる。学校単位など地域の中で共有すべき程度のものであれば、その時の判断で学校の一斉メールに登録している人に流す。以前鹿が逃走したという内容を西武地区に流したことがある。危害が加えられるのではないかという状況ならば地域限定で防災無線を流す。それは市の判断で行う。しかし凶悪犯ではない、わいせつ犯など発見が難しい場合は情報の共有が難しい。
委員	交通安全協会の広報車で地域を巡回しているとき、下校時間に通学路を巡回できるように、学校に下校時間を聞いている。仕事をしている人もいて必ず下校時間に合わせて巡回できるわけではない。車で通学路を巡回し、路上駐車している車のナンバーを控えたりするが、全員がその様な対応をしているわけではない。不審者等の情報がないと、見過ごしてしまう。できれば広く情報を共有できればいい。不審者情報は回覧板で回ってくるが、それでは遅い。
事務局	生徒、保護者だけでなく、地域の安全を支援している方にも情報を共有で

発言者	発言内容
	きるようと考えたい。回観板では速報性がないということは意見として承る。今後仕組み等を検討する。
委員	西武地区の仏子駅と、道路の整備計画について市では計画がないようだ。市の整備計画にあるのは藤沢地区、豊岡地区だけである。西武地区は駅前の区画整理事業が計画に載っていない。駅前区画整理事業というのは多額の費用がかかるが、計画を立て、駅前を整備すべきである。先ほど話にでた通学路になる道路も計画を立てて整備していかないと良くならない。西武地区は入間市の中でも田舎である。今から10年20年先を見据えて計画を作るべきだ。計画があれば、土地が空いても家を建てることはないだろう。西武地区は将来を見据えた区画整理の計画がどうしてないのか。
事務局	駅周辺については、元加治駅は飯能市堺で、飯能市と協議をしている。題材としてはあるが、仏子駅については計画は具体化されていない。中学校の統合はやはり西武地区のまちづくりに直結している。今出た意見は持ち帰って担当部署に伝える。しかし、整備計画の策定を待ってから、この計画に載せている、学校の統合について検討するという状況ではない。
委員	道路の拡張は難しいということであるが、運転者から見た視点として、カーブミラーや横断歩道、手押し信号などを設置してほしいという提案をした場合、要望が通る可能性があるものは何があるのか。
事務局	次回の会議以降に整理して提供したいが、カーブミラーは各自治会の区長から要望書をもらい、技術的見解も含めて本当に設置の必要があるのかを判断して、市の全体要望の中で必要性の高いところから設置している。設置するときは、市内については市の判断で設置できる。道路の一時停止や信号機の設置は警察協議になる。狭山警察も独自判断でなく県の安全協会の審査の中でどうするかを検討する。市は意見書をもらって警察へ要望を出す形である。例えば、事故が発生した場合、警察は原因を追究し、解決策として信号を優先して付ける。道路規制に関しては警察協議になるが、警察と市の役割分担は整理したい。
委員	統合するにあたって、安全とする基準や、必要条件は市から警察へ提出す

発言者	発言内容
事務局	るのか。 安全対策の必要がある箇所は統合するしないにかかわらず学校単位で市に情報が上がってくる。市の予算で対応することができれば市で対応する。内容によっては警察にお願いすることもある。ただし、警察対応となった場合、警察は埼玉県全域を対応しているため、市で対応するよりも時間がかかる。
委員	私は統合に関しては賛成である。理由は、多くの子供たちに揉まれてほしいからだ。全員に聞いたわけではないが、統合することに反対している人には会ったことがない。この事業計画通りに統合した場合、私の娘は統合後に中学生となる。統合に直接関係する子どもを持つ親としては安全面が重要である。現在は2つの中学校へ向けてそれぞれの在校生が通学していたが、統合すれば、1つの中学校に全員が向かうことになる。登校する人の流れや歩行者の数も変わる。現時点での程度の生徒が自転車通学になるのかを知っていた方が安全面で検討しやすいのではないか。また、指定された通学路はないということだが、上下校時に事故や怪我をした場合、スポーツ振興センターの保険対象であるが、決められた道を通っていない場合、保険の対象外と聞いた。この地区はどこをとっても対象なのか。
事務局	人の流れの予想については次回以降資料を用意する。通学路に関しては基準の指定通学路は存在する。自宅からその基準の通学路までの道については必ずここという道はない。そのため保険の適用はある。
委員	市内中学生の通学手段は歩行が前提であるが、自転車や公共交通機関を許可されるための基準はあるのか。また、それは学校長の判断であるのか、市教育委員会で指針があるのか。
関係部局	基本的には歩行通学あるいは一部中学校で自転車通学を認めている。自転車通学は、学校ごとに決めている。1.5～2km以上離れている場合は許可される。公共交通機関の利用する例としては、特別支援学級に通うためにバスを利用している生徒もいると聞いている。

発言者	発言内容
委員	私の娘は昨年 12 月に市教育委員会から許可を得て、仏子駅から元加治駅まで電車で野田中学校に通っている。実態を把握した方が良い。自転車通学や電車通学の基準を教育委員会の中で持たず、校長の判断とするのは曖昧過ぎる。
関係部局	持ち帰って検討する。
委員	パブリックコメントで土砂災害警戒区域についての説明を受けたが、どの辺が指定されているのかわからない。今後資料に載せてほしい。
事務局	土砂災害警戒区域については防災マップというものがある。次回配布する。
委員	土砂災害については、説明会でも何度も問題になっていた。西武中学校は現在、土砂災害警戒区域に入っていないが、将来的には入るかもしれないし、その場所が安全とは言えないということが県の見解である。指摘があったにも関わらず西武中学校が安全であると判断した根拠は何か。
事務局	今、日本全国、どこでも斜面が安全という証明を出す公共機関はない。詳しく調査する必要があり、安全宣言はどこも出さないのではないか。法的な基準をクリアしている、ということしかどこの自治体も説明はできない。数値を見て安全ということは様々な研究結果から示せているが、想定外なことが起こるかもしれない。全ての事柄において安全宣言を行うことは難しい判断であろう。ただ、西武中学校の第二グラウンドは、現在部活動に使用している。また、授業の場所として使用している。その場所が危険であるという認識はない。西武中学校周辺には河川や山の斜面があるため、危険性が全くないかと言われれば、想定外の事が起これば危険性はあるのではないか。西武中学校を選択したから全て安全とは言えない。野田中学校を選択しても、下には断層があるかもしれない。西武中学校はのちに土砂災害警戒区域と指定されるかもしれないという県の答えは、現在把握できていない想定外の事柄があるかもしれない、と考えている我々と同じ立場で答えたのだろう。一つの基準として土砂災害の調査を行っているが、調査の基準に達していない角度の斜面は調査をしていないため、土砂

発言者	発言内容
委員	災害警戒区域に指定されていないという結果である。それらの結果は冷静に見て判断していく。
委員	安全と 100% いうことはできないが、土砂災害警戒区域は大雨などによる土砂災害のみを想定したもので、地震による土砂災害は考慮されていないという。マグニチュード 7.4 の地震が起これば西武中学校は最大震度 6 強と予想されている。大雨が降り、地盤が緩んでいる時に地震が起こった場合でも、絶対に土砂災害が起こらないと言えるのか。心配である。
事務局	この点は自然災害の条件の中で判断する。何が安全で何が危険かというのは個人で基準が変わる。一つの共通認識の中で結論を導くのは難しい。
委員	野田中学校であれば土砂災害の心配は 100% ないと思っている。
事務局	野田中学校に向かう通学路にも斜面はある。斜面以外にも通学路には危険があると思う。人によっては自然災害よりも毎日の通学路の安全性を重点に考える人もいるだろう。不審者の出没状況から考えると野田中学校よりも西武中学校の方が安全と思う人もいる。そのように判断基準は人によって変わる。学校が建っている場所の安全、通学路の安全、どちらの優先性が高いかを考える。計画としては西武中学校に統合することを示しているため、この会議では、西武中学校に統合した場合のメリットとデメリットを分析して、デメリットをどう解消するかを検討するような場にしたい。
委員	最終的に通学路の動線は中橋か上橋になるだろう。どちらにしても、安全は 100% 確保されていない。特に中橋通りは新光から西武小学校に向かう列に対して、仏子から野田中学校に向かう列は逆方向である。全員が歩道を通ることは難しいであろう。野田中学校の生徒が西武中学校に来るときもその道は使う。また、中橋側から国道 299 号方向に向かう自転車が右側の歩道を走っているのを見かける。そしてその自転車をよけるために、ラーメン屋から中橋方向に向かう自転車は後方を確認せずに車道に飛び出してくることがあり、大変危険である。同じようなことを中学生もするのではないか。警察も目撃しているが注意をしない。その様な状況を踏まえて動線の確保をどうするのかを重点的に話すべきではないか。

発言者	発言内容
委員	<p>市に要望を出すのではなく、我々がこうした方が安全だと話し合い、知恵を出し合って現実的な解決策を決めることがこの委員会の醍醐味ではないか。100%安全なんてありえない。いろいろなリスクがある。そのリスクをどれくらい減らすことができるのか、知恵を絞ることが我々の役目ではないか。そして、市は予算を見ながら実施するのが市の役目である。必要なら必要としてみんなで決意して市へ要望するか、議員さんにお願いするなどすればいい。中橋北交差点の歩車分離信号も県議会議員に要望を提出し続けてやっと付いた。電車通学が必要なら必要と市民として要求すべきである。道路拡張などは難しいが、どのように整備をすれば西武中学校まで安全に通学することができるのかを話し合うべきだ。</p>
委員	<p>④スケジュール 学校を建替えるときは全部壊して建替えるのか。</p>
事務局	<p>建替え工事は学校の敷地の現在空いているスペースや一部校舎を解体して新校舎を建てていく。学校に居ながら建設工事を行うことを考えている。最終的には、今ある学校は解体して、新しい建物になる。</p>
委員	<p>スライド 13 に現校舎の配置レイアウトがあるが、それを見ながら新校舎の配置レイアウトを具体的に教えてほしい。</p>
事務局	<p>実際には設計にかかることなので、どのような配置になるかまだ決まっていない。スライド 13 の校舎(3)が比較的新しい校舎で、中庭あるいは古い校舎を解体して建替えた後そちらに移る。次に校舎(3)を建替え解体することになる。実際にはどのようなやり方がふさわしいのかは設計の段階で決まる。いずれにしても、今の校舎はすべてリニューアルする。</p>
事務局	<p>今まで頂いた意見の中でいくつか持ち帰り検討する必要のあるものがあった。それらについて、また次回資料を提示したら、またさらに議論が出るだろう。今日で終わりとは思っていない。次回以降も検討の協力をお願いする。</p>

発言者	発言内容
事務局	(2)「公共施設マネジメント事業計画学校統合地区検討会議における検討事項について」 前回配布した資料6について6名から提出があった。まちづくりや学校統合に向けた課題、周知不足、通学路の安全確保策、通学手段の確保、教育環境の充実などの記述があった。生徒から直接意見を聞くべきという意見があった。意見、要望、検討事項は市で取りまとめ、次回以降のテーマ設定に反映したい。
委員	(3)次回検討事項説明 西武中央保育所を利用している全保護者にアンケートを実施した。回収率は98.6%で一世帯以外の全世帯から提出された。とても関心が高い内容であると感じている。詳細は割愛するが、アンケートの内容としては、「当事者に計画が浸透していない。」「情報が少ない。」「野田中学校区の人が納得していない。」というものである。また、西武中学校を選んだ具体的な理由を示してもらうことを希望するという要望もある。本日、原本を持参した。是非目を通してほしい。
事務局	事務局でまず拝読する。今後のテーマ設定で活かしたい。感謝する。
議事のてん末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。	
令和元年10月15日	
会長の署名	吉田 賢紀